

今年の秋は大変、実りの多い秋になりました。9月は「戦争遺跡保存全国ネットワークのシンポジウム」での松本強制労働調査団の2名の方の報告をはじめ、10月の聖霊中学校の地下工場跡現地見学会、11月の中京大学4年生の大橋さんの現地取材と、今までにはない若い世代の方々の活躍を感じることができ、未来に対して大いなる希望が持てた秋になりました。

12月には空襲戦災を記録する東海交流会、来年1月には恒例の市民向け現地見学会を予定しており、これからも新しい出会いがあることを期待しています。
事務局 寺脇

9月17日(日)のシンポジウム第3分科会で「調査団若造合宿の報告」をされた松本強制労働調査団の春日みわさん(左)と光武結さん(右) 関連記事はP6参照。



10月21日(土)瀬戸市内にある聖霊中学校の生徒15名が地下工場跡を見学しに来てくれました。関連記事はP2、P3を参照。

11月10日(金)中京大学国際学部国際学科4年大橋佳奈さんが卒論テーマ

「愛知県における戦争遺跡の保存と活用」と題して、地下工場跡地他地域の戦跡を取材調査されました。

関連記事は P10 参照。



冬の時代に新たな息吹



瀬戸地下
軍需工場
跡を保存
する会

会報

NO.178
2023年
11月15日

瀬戸市追分町64-1
瀬戸市職労組 事務所
0561-84-4760
fax 84-4767
郵便振替口座番号
00820-9-105120

連絡先

事務局
梅野
090-3837-7050
寺脇
0572-23-5899
fax 同上
携帯

090-6575-4370

Eメール
tera-m@ob.aitai.ne.jp



ありがとうございます
2024年度
ごございました！

瀬戸市
会費およびカンパを頂いた方

富田孝正さん 2
大島武彦さん 2
荒木庄平さん 1
木戸泰幸さん 3
戸田孔成さん 2
須田雅子さん 2
宇佐見美智代さん 2

原田千育さん 2
加藤規江さん 1
大塚英二さん 1
加藤敏子さん 2
伊藤和雄さん 2
伊藤智之さん 2
羽根正之さん 3
川手眞理子さん 3
匿名希望さん 2
横山昭子さん 1
横山文代さん 2
水野高至さん 3
増田孝喜さん 1
柴田美代子さん 1
原町子さん 1
土屋鋼平さん 1
細江弘平さん 1
甲斐知子さん 2

尾張旭市
田辺はる子さん 3

名古屋市
堀崎嘉明さん 1
椎尾匡文さん 1
池田憲一さん 2
高橋信さん 1
西悦さん 1
森雅欣さん 1
堀川道子さん 3

次頁につづく

3111211
0000000
0000000
0000000
円円円円円円

2111123
0000000
0000000
0000000
円円円円円円

0000000
0000000
0000000
0000000
円円円円円円

0000000
0000000
0000000
0000000
円円円円円円

0000000
0000000
0000000
0000000
円円円円円円

聖霊中学生地下工場跡見学



聖霊中・高校の見学会は今回2回目。昨年は高校2年生が見学してくれましたが、今回は一年から三年生までの15名の中学生でした。見学会の前に中学生向けに学習会を行いました。今回は戦争の時代に子どもたちがどんな教育をされていたのかという点を最初に二つの事例を紹介しまし

た。一つは、中国（シナ）兵をやっつけようとする日本兵の人形（左図）です。二つ目は、当時の小学校6年生の中学校受験用模試の答案用紙です。当時は中学校入試と言っても「国史」しかなく日本の中国戦線を正当化するような解答が正解だったようすを見てもらいました。（寺脇）



2023年11月11日現在 143名 (+1-2)	沖本裕司・富貴子さん	3000円	沖石市 安部友里絵さん	1000円	長岡京市 福嘉美和子さん	3000円	中津川市 吉川和彦さん	5000円	恵那市 長瀬新平さん	1000円	岐阜市 篠崎嘉樹さん	3000円	豊橋市 櫻村愛子さん	1000円	半田市 兵道易久さん	1000円	豊川市 佐藤明夫さん	1000円	北名古屋市 半谷弘男さん	2000円	豊田市 高木みどりさん	1000円
	沖縄県八重瀬町	3000円	明石市 安部友里絵さん	1000円	長岡京市 福嘉美和子さん	3000円	中津川市 吉川和彦さん	5000円	恵那市 長瀬新平さん	1000円	岐阜市 篠崎嘉樹さん	3000円	豊橋市 櫻村愛子さん	1000円	半田市 兵道易久さん	1000円	豊川市 佐藤明夫さん	1000円	北名古屋市 半谷弘男さん	2000円	豊田市 高木みどりさん	1000円

第2回聖霊中等部・高等部「瀬戸地下軍需工場跡地」学習・見学会 に参加して

瀬戸市平和委員会 木戸泰幸

2023年10月21日(土)9時30分水野公民館集合で、第2回「瀬戸地下軍需工場跡地」学習・見学会が開催されました。参加者合計は22名でした。聖霊中等部からスクールバスに担当教員・福山洋一先生はじめ生徒1年生から3年生合計15名が乗り込み元気よく公民館に集合してきました。彼女達は公民館の階段を「キャッ!キャッ」と言いながら駆け上ってきました。そして大きな「挨拶」。わたしたちは大変「気持ち」が良く、彼女達を受け入れられました。

9時45分から「地下軍需工場跡地」に関する学習会が始まりました。大変面白い例題が寺脇さんから提示されました。それは旧中学校入試に関するもので、「国史」でありました。参加者と同年齢が解いたテキストであり、その文面には「忠君愛国」・「挙国一致」等の言葉が出ており、とても現在の12歳から15歳の生徒には理解不能な言葉でありました。そんな言葉を旧中学校向けの入試問題に出題されていました。「時」は日中戦争の時代であり、また満州国が成立していた時代であります。12歳の生徒に「日」・「満」・「支」3国が「仲良く」なる為には、どうしたら「良いでしょう」等と問いかけていました。その「問」の背景には「日本国」が「満」・「支」より優れている国である事が「隠され」ていました。

そんな寺脇さんの説明を聞く中で、筆者は「教育」の恐ろしさを学びました。教育は一步間違えれば「狂育」に転落してしまう事です。果たして「万世一系」等は歴史的に正しい事でしょうか。

わたしの伯父は20歳で1945年5月24日鹿児島県鹿屋基地から19時24分沖縄に向けて特攻に飛び立ちました。現在も鹿屋基地には「遺影」・「遺書」が掲げられています。特攻機の「部品」の「一部」を瀬戸地下軍需工場で作成していました。資源が乏しい日本は、市民から部品などの原材料となる「鉄」・「銅」・「その他貴金属」の「供出」を強要して迄も確保に努めていました、と説明が為されました。

生徒さんたちは人生の中で1度しかこの様な経験は出来ないかもしれません。ウクライナ・パレスティナで悲惨な戦争が行われています。同じ年齢の子どもたちが命を落としています。決して戦争は起こしてはならない。2度と戦争は起こしてはならない。この「想い」を大切に、地域で「平和教育」・「平和学習」を「義務教育」の根幹として、浸透させていかねばならないと痛感しています。(下線は寺脇が加筆)

「鹿屋航空基地史料館」にある木戸さんの伯父さんの記録

木戸門一上飛曹

大正14年8月24日、愛知県岡崎市に4人兄弟の二男として誕生。父は家畜商、母は3軒の銭湯の管理に努めていた。10才の時に父が亡くなる。まじめで頭が良くひかえめな性格だったが剣道で体を鍛え野球も得意だった。豊田自動車(株)に勤務時は野球に没頭した。海軍に入隊していた長兄を目指し昭和16年12月1日第17期し種飛行予科練習生として岩国航空隊に入隊。その後偵察員となる。末弟にノートや鉛筆を送ってくる優しい兄だった。勤務していた高知航空隊は昭和20年5月5日神風特別攻撃隊菊水部隊白菊隊と命名され木戸上飛曹もその一員となる。兄弟に飛行服の写真を形見として渡し昭和20年5月22日に鹿屋基地に進出。菊水部隊白菊隊初出撃となる5月24日愛機を清掃し野花を一輪挿した。そして水野上飛曹の操縦する機上作業練習機「白菊」搭乗し19時39分鹿屋基地を出撃し散華した。

木戸 門一	
作戦方面	菊水7号作戦
布告番号	156
出撃部隊名	神風特別攻撃隊 菊水部隊白菊隊
出撃日時	20.05.24 19:26
階級	上飛曹
戦死日	20.05.25
搭乗機、機数	白菊 8
生年月日	大正14
年齢	20歳
出身期別	乙飛17期
出撃基地	鹿屋
所属部隊	高知海軍航空隊附
出身県	愛知県
戦死場所	沖縄周辺



下は白菊隊の全貌



白菊は機上作業練習機。爆弾を積みと燃料タンクを大きくした特攻機仕様では最高速度は180km程度。

日付	特攻隊名	特攻機種機数	発進基地	指揮官
5・24	神風特攻菊水白菊隊	白菊20	鹿屋	中尉 野田勉
5・25	神風特攻菊水白菊隊	白菊?	鹿屋	一飛曹 坂本俊美
5・25	神風特攻徳島第一白菊隊	白菊29	串良	少尉 須田治
5・27	神風特攻菊水白菊隊	白菊2	鹿屋	中尉 川田茂
5・28	神風特攻徳島第二白菊隊	白菊11	串良	中尉 田中正喜
5・29	神風特攻徳島第二白菊隊	白菊11	串良	一飛曹 田光圓
6・21	神風特攻菊水第二白菊隊	白菊8	鹿屋	中尉 古賀一義
6・21	神風特攻徳島第四白菊隊	白菊8	串良	中尉 田上国平
6・23	神風特攻菊水第三白菊隊	白菊14	鹿屋	一飛曹 豊木茂
6・25	神風特攻徳島第五白菊隊	白菊?	串良	少尉 田浦猛輝

日本海軍発祥の地は戦跡の宝庫だった

第26回戦争遺跡保存全国シンポジウム

横須賀おっぱま大会



9月16日(土)から18日(月)まで神奈川県横須賀市追浜で戦跡保存全国ネットワークのシンポジウムが行われました。

今回の開催地は日本海軍発祥の地である横須賀鎮守府が1884年(明治17)に設置され、1916年(大正5年)には追浜に海軍航空隊設置されるなど日本海軍にとつては大変重要な地域でした。そのために戦跡も明治時代のものから第二次大戦末期のものまで多くものが遺されています。今回、私が訪れたのは1日目に野島(横浜市)の掩体壕、2日目に東京湾に浮かぶ猿島として3日目に貝山地下壕」と第3海堡」です。明治時代に造られた巨大な構造物は第2次大戦に至つては無用の長物どころか船舶の航行にも支障をきたすものになりました。シンポジウムでは若い人たちのエネルギーを感じる事が出来、大変有意義な3日間でした。(寺脇)

野島の巨大掩体壕

旧横須賀海軍航空隊基地の戦闘機を空襲から守るための施設。長さ 260m、出入り口の幅は 20m、高さ 7m。1945年3月15日から6月30日まで掘削工事。夏島の掩体と合わせて小型海軍機を100機格納する予定だったが、実際には使われなかった。横浜市が設置した塀のため全体が見えないのが残念。



西側の入口。



内部にはゴミが散在



西側の入口。

東京湾に浮かぶ要塞島・猿島

猿島は横須賀市街地から1.7kmに浮かぶ無人島。明治時代に猿島砲台が築かれ2015年に国史跡指定。2016年には日本遺産「鎮守府横須賀・呉・佐世保・舞鶴～日本近代化の躍動を体感できるまち～」に構成文化財の一つとして認定。



猿島見学は、予定にはなかつたものですが、大会2日目に同行した方のお世話で訪れることができました。

戦艦「三笠」のある港から船で10分程で着きます。明治時代の砲台の施設がしつかり残つていて圧巻です。第二次大戦末期の高射砲の跡もあり、ガイドさんの説明も素晴らしく大変良かったです。(寺脇)



第3海堡(海上要塞)

東京湾第三海堡構造物

(兵舎・観測所・探照灯・砲側庫)

1892年8月起工、1921年完成、水深39mの位置に造成されたため完成に30年を要したが、2年後の関東大震災で全体の三分の一が水没し海難事故の原因となるので、2000年から2007年にわたり撤去工事が進められ、一部は漁礁に一部は陸揚げして展示されている。横須賀市の日本遺産構成文化財となっている。(貝山緑地の南)



貝山地下壕

貝山地下壕は、旧横須賀海軍航空隊が空襲対策として、昭和18年～19年にかけて敷設した延長約2キロメートルにも及ぶ大規模な地下壕。場所は、航空隊と空技廠の間に存在する小丘陵。地下壕の中には、かまどの跡や煙突の跡、鉄のドアなど人工物がかなり散在していて見ごたえがある。(貝山緑地)



上は「かまど跡」右に煙突が延びる

右はドアの鉄枠



いろんな人工物が散在



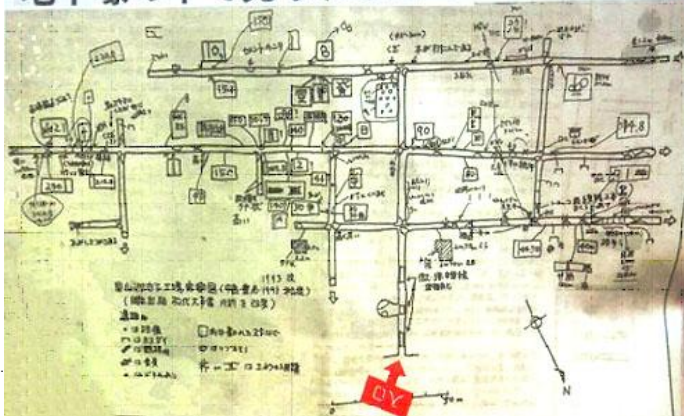
付近にある「予科練」の碑

大注目！調査団若造合宿の報告

第3分科会で注目したのは松本強制労働調査団のお二人の報告です。若い人たちに確実に継承されていることに感動しました。(寺脇) P1参照



地下壕の中で見られるもの



松本強制労働調査団の紹介

- ・ 1990年結成
- ・ 松本市里山辺地区・中山地区における「戦争中の朝鮮人・中国人の強制労働の実態調査」を目的に結成
- ＜活動内容＞
- ・ 里山辺地下壕・松本市内にある戦争遺跡の調査や案内
- ・ 里山辺地下壕の保存
- ・ 訪中・訪韓調査などで当事者への聞き取り調査
- ・ 地元の中学生との研究授業

わかぞう合宿でやっていること

- ・ 土日に、合宿所に集合
- ・ 年3回のペース（これまで4回実施）
- ①地下壕案内の継承
- ②訪中調査の資料をデータ化
- ③学習、交流

ということで... 訪中調査データ化プロジェクト！



「わかぞう」の紹介

- ・ 大学時代からの関わりのある若者が複数人いる。
- ・ 普段から事務局に参加できる若者は2人だけ。
- ・ 3人目の若者が入団したことがきっかけで「一緒に学習しよう！」と合宿をやることに。
- ・ 合宿ならみんな来てくれるかも・・・

今後の課題

- ・ 地下壕の中の記録を残す（1回とりあえず撮影してみたけれど、何を映しているかわからない映像が撮れた）
- ・ きちんとした資料を記録する
- ・ 入らなくても疑似体験ができるようにする（映像を撮るためのシナリオ作り）
- ・ 若者たちが自分たちの言葉で案内できるように練習！



360度カメラ。
向こう側にもレンズがついている

愛知県が「戦争遺跡」を調査へ

11月8日(水)のNHKニュースで以下のように愛知県が戦争遺跡調査を各自治体に指示したと放映がありました。今後、当会に行政側から何らかの連絡があると思いますが、地下工場跡地保存が良い方向で進んでいくことを切望します。
事務局 寺脇

愛知県が「戦争遺跡」を調査へ

11月8日 東海 NEWS WEB より

愛知県は、戦争の記憶を継承していくため、戦時中の軍の施設などの「戦争遺跡」を調査した上で、保存に向けた検討を行うことになりました。

愛知県内では、2004年までの8年間、戦時中の軍の施設や空襲のあとなどの「戦争遺跡」について調査を行い、305か所を県の歴史をまとめた「県史」に掲載しました。

一方、それ以降、調査は行われておらず、開発などで取り壊されたり、手入れがされずに傷んだりしているものもあると予想されることから、県はあらためて調査を行うことになりました。

県は、今月(11月)から、市町村に対し、「県史」に掲載されている遺跡の保存状態のほか、それ以外にも保存すべき遺跡があるかどうか情報提供を求めることにしています。

その上で、県は、来年度(2024)、現地調査などを行い、県の文化財への指定や登録を促すなど、適切な保存方法の検討を進めることにしています。

愛知県は「戦後80年近くが経過し、戦争体験者からの証言を得ることが困難になる中、戦争の記憶を継承するために『戦争遺跡』の役割が重要となっている。改めて、調査し、保存すべきものは保存していきたい」としています。

なお、基礎調査の概要は

(1)調査時期は 2023年11月から2024年2月まで

(2)調査依頼先は県内市町村

(3)調査内容

1) 愛知県史に掲載の戦争遺跡に係る情報提供

「愛知県史 別編 文化財1 建造物・史跡」(2006年刊行)に掲載の305か所の戦争遺跡のうち、各市町村内の戦争遺跡について把握している情報(独自調査の実施、文献の所在等)

2) 市町村において独自に把握している戦争遺跡のリストアップ

上記305か所以外に、市町村において把握している戦争遺跡(県史発行以降に存在が明らかになった戦争遺跡等)に係る情報

・市町村担当者に説明会の実施 11月15日予定

3) 今後の予定

今回の基礎調査を基に、2024年度以降に現地調査や文献調査などを実施し、県内戦争遺跡の現状を取りまとめるとともに、適切な保存・継承に向け対応を検討する。 以上

県史(06年発行)にリストアップされた瀬戸市の戦跡

地図の番号	遺跡	所在地	内容
96	愛知航空機(株)瀬戸工場	瀬戸市上本町	コンクリート造隧道入り口5こ以上、コンクリート造水槽
97	法雲寺の梵鐘代替品	深川町	昭和17年10月造陶製高さ115cm直径79cm、市指定文化財
98	東本地町の防空壕	東本地町	幅1m高さ1.2m長さ6.7m
99	新田町の防空壕	新田町97	庭先丘下に幅0.7m横穴2本
100	幡中町の防空壕	幡中町	幅0.6~0.9m高さ1.5m横穴5本
101	掛下町の防空壕	掛下町	幅1m高さ1.8m長さ10m



写真で観る晴嵐 28号機修復の全貌

第11話

愛知航空機研究家・渡辺哲国

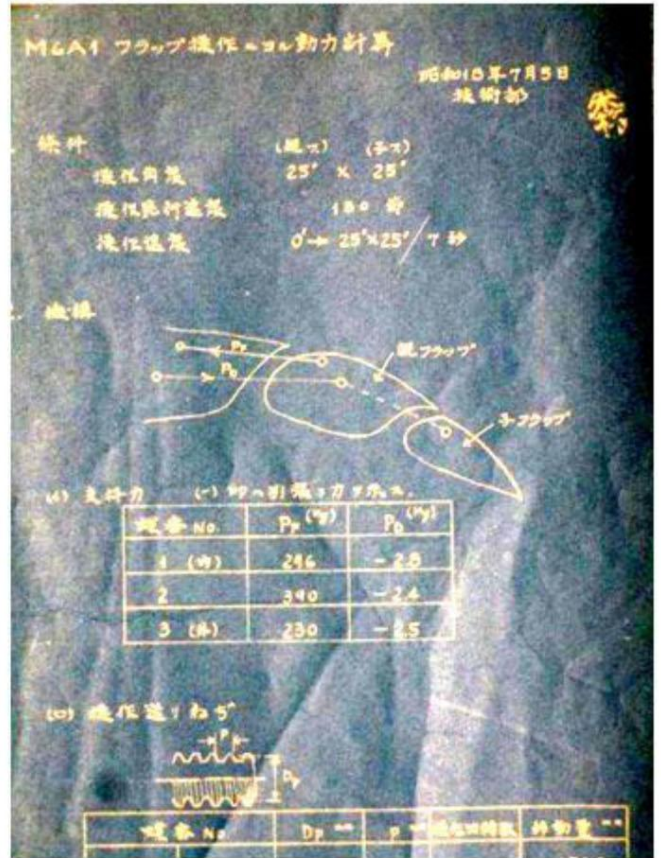
11. 親子式フラップ&エルロン

晴嵐の新機構の一つに親子式フラップがある。親子式フラップは親と子の2つのフラップで構成され、①フラップ(下げ翼)、②抗力板(抵抗板、ダイブブレーキ、エアブレーキ)、③空戦フラップの3つの機能を有し、モーターとねじ歯車、リンク機構で制御されている。

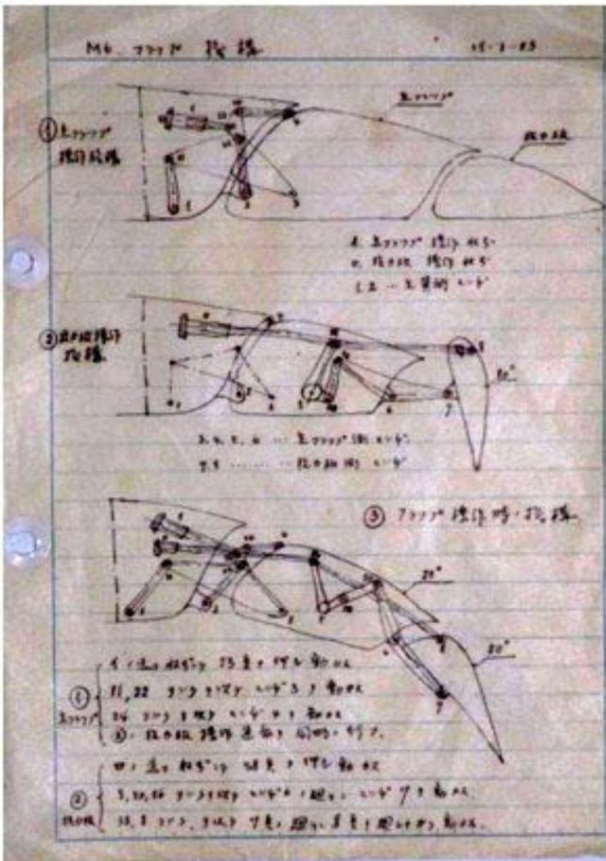
アン・マッコムス女史は動翼修復のスペシャリストで、PEGFにて修復された機体の大半を手掛けている。動翼には羽布張りの物が多く、裁断、縫製などに女性特有のきめ細かさが生かされている。晴嵐には親子式フラップが使われているが、この複雑な作動機構の解明には彼女の専門知識が必要とされた。

他の部位と同様に、フラップ、エルロンも腐蝕がすすんでおり、腐蝕部の除去は慎重に行われた。羽布張りの具体的方法は工作標準に基づき行われるが、日本機の標準は不明のため、他の日本機や残された残骸が参考にされた。

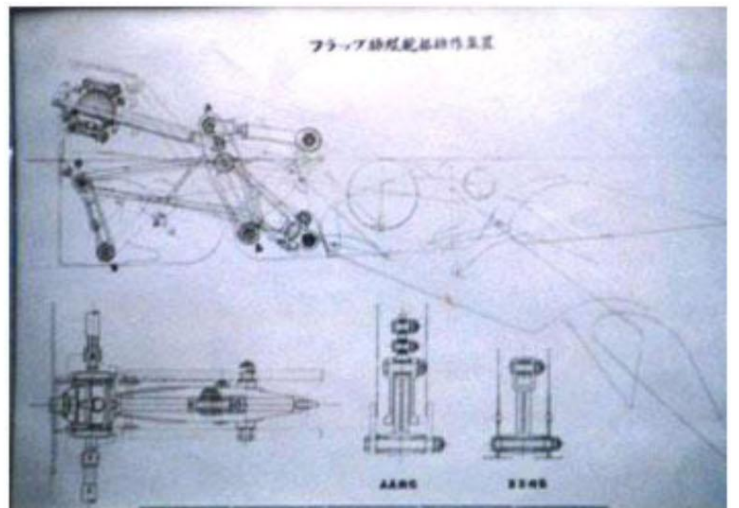
注1)設計時には空戦フラップの要求は無かったが、試作中に追加要求があり、設計変更となった。空戦時の旋回半径を小さくするため、操縦桿頂部のボタンを操作すると、子フラップが15度乃至20度下がる仕組みである。艦攻・流星や水偵・瑞雲にも採用された。 次号へつづく



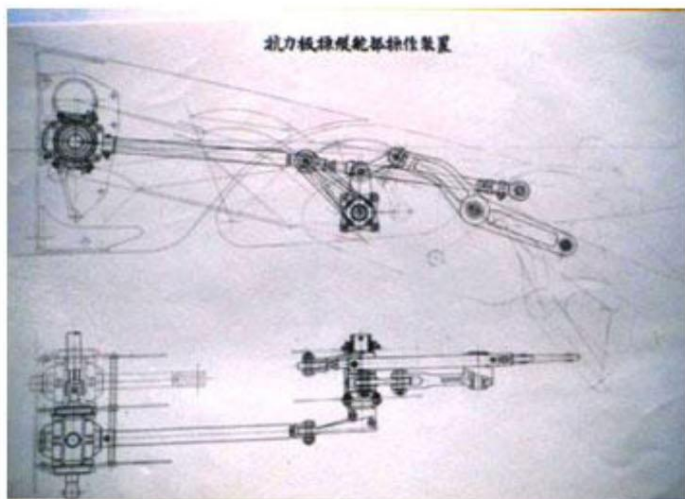
②M6A1 フラップ操作による動力計算



① M6 フラップ機構



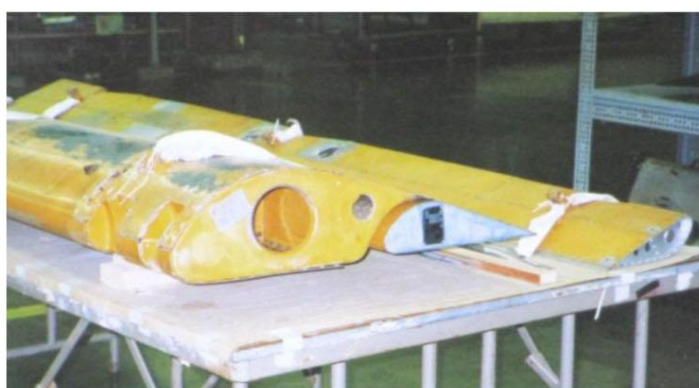
③フラップ操縦舵部操作装置



④ 抗力板操縦舵部操作装置



⑧ 組立中の 28 号機、親子式フラップの構造に注意



⑤、⑥ 修復中の親子式フラップ、暗緑色が剥がれ、試作機の黄色が露出



⑨ 左翼下面の親子式フラップとエルロン



⑩ 腐食の進行したエルロン、前縁部はジュラルミン張り D ボックス構造

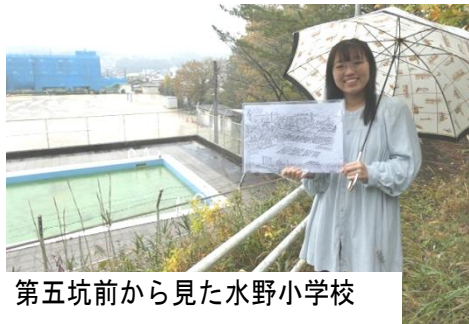


⑦ 組立中の 28 号機、親子式フラップの構造に注意



⑪ 左翼のエルロン下面、羽布張り構造

卒業論文で地域の戦跡調査・取材



第五坑前から見た水野小学校



第2区第十坑

11月10日(金)中京大4年生の大橋さん(P1参照)のご依頼で瀬戸市と周辺の戦跡をご案内しました。悪天で、足元の悪い山中もあった中、大変熱心に調査されていました。(寺脇)



第2区の最高部にできた陥没穴



第1区 第七坑

本日(11月10日)は雨のなか長時間にわたって戦争遺跡の見学をさせて頂き、誠にありがとうございました。先日も頂いた資料や写真だけでは分からなかったものが、実際に現地を訪れることで知ることが出来ました。この2日間の取材は論文に活用させて頂きます。取り急ぎ取材ご協力のお礼申し上げます。この度はありがとうございました。
大橋佳奈



天皇統監所碑



カピタニオ高校

御駐蹕(ちゅうひつ)址

三郷駅南



三菱発動機久々利地下工場跡

可児市

編集後記

ウクライナに加えパレスチナでも庶民を犠牲にした戦争が始まってしまいました。復讐にかられた大国が自衛という名のもと、殺戮を繰り返しています。戦争＝暴力による報復ではけっして平和は訪れないということはすでに語りつくされているにも関わらず、未だに非情な事態が続いています。しかし、希望は残されています。先程見たテレビの映像の中に、ユダヤ人の若者(Z世代)がパレスチナに対する戦闘行為に反対する姿を映していたのです。日本の中にも「新たな息吹」を感じる昨今です。

2023年11月12日(T)

みなさまからのメッセージ

郵便振込の払込取扱票にあったメッセージを紹介します。なおご本人に確認していないので、お名前は匿名で紹介します。(寺脇)

「会報ありがとうございました。(中略)海上の森/斬首、びっくりです。聖霊高校の活動お疲れさまです。水野小学校近くに愛知機械(注 当時は愛知航空機)の軍需工場が作られたとは、無計画でずさんさを感じますね。」
9月21日名古屋市Nさん

「会報177号ありがとうございました。本当に中身が濃い内容です。ゆっくり、ていねいに読ませていただきます。鈴木守様の投稿は本当にショックでした。こんな一言ではいけませんね。」
9月12日尾張旭市Tさん